

1. 会議名	第5回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議
2. 開催日時	令和5年2月13日(月) 18:00~19:00
3. 開催場所	出雲市役所本庁 3F 庁議室
4. 出席者	<p>【出席】</p> <p>山岡 尚会長、長岡 明生副会長、伊藤 繁満委員、板倉 一郎委員、陰山 篤也委員、加村 健悟委員、加本 るい委員、來間 久委員、坂根 俊委員、田中 由美子委員、壺倉 浩平委員、長瀬 理更委員、橋本 孝委員、原 久子委員、楨原 綾子委員、馬庭 伸行委員、持田 幹男委員</p> <p>【欠席】</p> <p>安部 宏委員、須山 賢也委員、中澤 雅美委員、原 八重子委員、三島 善子委員 渡部 由美委員</p> <p>《事務局》</p> <p>商工振興課長、産業政策課職員、商工振興課職員（5名） 21世紀出雲産業支援センター職員（2名） 株式会社バイタルリード（4名）</p>
5. 議題	<p>1 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画 最終案について</p> <p>2 その他報告事項について</p> <p>①令和5年度予算概要について</p> <p>②NPO法人ミライビジネスいずもについて</p>
6. 会議内容 ※敬称略	<p>■要約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興計画案について、パブリックコメントの結果を踏まえた修正点や、事務局で表現等再確認をした修正点を共有した。前回の案から本文について大きな変更はない。 ・p.59の進行管理について、アフターコロナなどの要因による急速に時代の変化に対応するため、5年間の計画期間中でも、適宜見直しを行う旨を記載する修正を行う。修正案については後日提示する。 ・今後の振興会議は主に市の商工施策等の進行管理を行う。また、目標数値を毎年度定め、計画の見直しを含めた検証に取り組む。 ・計画最終案協議後、令和5年度予算概要の説明及びNPO法人ミライビジネスいずもの紹介を実施 <p>■内容</p> <p>事務局 本日はご多用の中お集まりいただき感謝申し上げます。令和4年度第5回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を開催する。本日は23名の委員のうち、安部委員、須山委員、中澤委員、原（八）委員、三島委員、渡部委員が欠席である。17名で会議を開催する。 (配布資料の確認)</p> <p>委員 本日の議題は1つ。第2期中小企業・小規模企業振興計画最終案について事務局からの説明をお願いします。</p>

< 1. 第 2 期出雲市中小企業・小規模企業振興計画 最終案について >

- 事務局 (12月16日～1月15日にかけて実施した振興計画案のパブリックコメントの結果を踏まえた修正点や、事務局で表現等再確認をした修正点を、資料1～4を基に説明)
- 委員 前回の案から本文については大きな変更はないと受け取った。前回の会議でも議論があった目標数値についての変更点も先程説明があった。何かご質問やご意見等ないか。
- 委員 先程説明のあった p.59 の見直しのサイクルは 5 年だが、総合振興計画は 3 年のため同様のサイクルとしてはどうか。脱炭素やデジタル化等急速に変化する時代において、5 年のサイクルは長いのではないか。総合振興計画とあわせて 3 年で見直しをした方が良いと思う。
- 事務局 おっしゃる通りで今後状況も大きく変化することが考えられる。この計画では見直しのサイクルを 5 年としているが、途中で変えるべき点が出てきた場合は皆さんの意見を踏まえたうえで見直すべきところは見直したい。
- 委員 総合振興計画は今年度から 8 年間で計画期間であり、その中で前期 3 年と後期 5 年に分かれる。前期は今年度を含めるため来年度からあと 2 年間。これはまち・ひと・しごと総合戦略に歩調を合わせる形でこのようになっている。それぞれの計画で決めれば良いという意見も当初あったが、今後は柔軟に進める形で検討をお願いしたい。
- 委員 コロナ対策が開始した話があったように、急に第 5 類へ移行するという事で大きく状況が変わっている。たまたま大型ショッピングセンターの店員とお話しする機会があり、化粧品の売上げが上がっているそうである。それはマスクを外す前提で皆さんが行動しているのではないかという話で、この計画を作った時と状況がまた随分変わってきそうな兆しがある。そういったことから計画を見直す期間は短くしてはどうか。ウィズコロナからアフターコロナへと急激に変化する状況になっているため、そのあたりにも触れる表現が良いと思った。
- 事務局 p.59 の進行管理の内容にアフターコロナの状況変化の表現を加えたいと思う。また皆さんには修正案を確認いただくために案を作成後に配らせていただきたい。今回は最後の会議になるため皆さんに集まっていただく機会がないためそのような形にさせていただきたいと思う。
- 委員 まだ意見があるかもしれないため最後に意見をまとめる。数値目標等何か意見はないか。私から 1 点お伝えしたい。計画そのものではないと思うが、資料で設置要綱に黄色い網掛け部分がある。この意図は何か。
- 事務局 先般の会議で審議の内容として入っていないものがあるので見直してはどうかという意見をいただいていた。現在設置要綱の決済をしており、ちょうど決済中のため仮置き文言となっている。当然製本の段階ではきちんと日付を入れて出す。
- 委員 具体には第 2 条（出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議設置要綱）の所掌事務のところを整理したということで良いか。
- 事務局 その通り。
- 委員 前回の会議は所用があり欠席した。計画は大体煮詰まってきたと感じる。今まで議論した部分も網羅されている。前計画では 8 つのワーキンググループが中心となり進捗について 5 年間議論を進めてきた。この振興会議の役割は、計画を立案した後は計画の進捗を評価や議論することであると思う。進捗結果は今までも会議で発表されていたと思うが、それに対し我々に善し悪しの判断は難しい。また、前計画ではモデル事業を実施するワーキンググループがそれぞれ事業を行い、振興会議はそれらのワーキンググループを承認し見守るという 1 つの大きな特徴があった。今回の計画は総合的な内容であると思うが、その分この振興計画の特徴が見えない。振興会議がこの 5 年間の計画で何をやっていくのかというところが少し希薄であるような印象

を受けた。ちなみにワーキンググループの実施期間はもう終わっているのか。

事務局 ワーキンググループは今年度の事業も行っており、今年度が最後となる。3月まで活動を行われるとのこと。本来であれば毎年3月末に振興会議で事業報告をしていたが、今回はこの計画策定の関係もあって3月に振興会議を開催できない。今年度のワーキンググループの報告については新年度に早い時期で振興会議を開催し、委員の皆さんにその事業の報告と検証をしていただきたいと思っている。今後、新しい計画でのワーキンググループの位置づけについてはご意見がなかったと思う。振興会議については市の商工施策を含めて進行管理等を行っていただくようになる。先程計画の見直しについても言及があった。それも含め毎年検証を一緒に取り組んでいただきたいと思っている。

委員 目標数値の追加や削除について説明資料もあり非常にわかりやすかった。p.54の目標数値上から3つ目「企業との交流会参加学生数」だが、令和3年度では漢数字で「一人」となっているがこれはそうなのか。

事務局 これは行っていないために0人という意味の皆無記号(「-」)。新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったためである。

委員 取り組みをまだ行っていないという意味で承知した。こういった場合取り組みを実施した直近の年度の数値が書いてあるものだと思うが、交流会の参加学生数はどの程度だったか。

事務局 この交流会は令和2～3年度は2年続けて新型コロナウイルス感染症を理由に中止になった。それ以前は大体広島と大阪で行っており、広島は平成30年度が第1回だったが、参加者数はおよそ30名だった。令和元年度は10数名。大阪は令和元年度が第1回で、こちらもおよそ30名程度の参加者数だった。

委員 承知した。令和9年度の目標値は広島や大阪、または別の都市でも行われるのかもしれないが、合計して80名ということか。

事務局 広島と大阪はそれぞれ定員30名ということで行った。同じ形で年度ごとに行い60名。更に今年度から学生が帰省する時期に合わせて出雲市内での交流会を行っており、定員は20名としている。こういったことから合計80名という目標値としている。

委員 現状値と最終年度の令和9年度の値はこの表で示しているが、この間の年度はどうするのか。毎年度目標値を設定してそれに対して検証するのか。それともこの目標は令和9年度に向けての値なのか。毎年度これに向かっての進行状況を検証するのか。

事務局 これについては毎年度第1回の振興会議で目標値を立て、その翌年度に評価検証をしていただく形としている。途中経過で小刻みな目標を立てながら右肩上がりになるような目標値に向かって進めていく。先ほど申しあげたように来年度も交流会を大阪と広島で定員30名ずつ、地元で定員20名にて行う予定のため、同じ数字がずっと続けて出てくるかもしれないが事務局としてはそのように考えている。

委員 毎年度目標数値を設定するという事で承知した。

他に意見等ないか。

では第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画についてはご了承をいただいたということで以上とする。今後の見直しをどのような方向で進めるかは、市と会長と副会長は協議の上、計画を修正していただくということでお願いしたい。

< 2. その他連絡事項について >

① 令和 5 年度予算概要について

事務局 資料 5 を基にこの振興会議が所管する事業について説明

委員 商工振興課・産業振興課が関わる事業について説明があった。何か質問等ないか。
・意見なし

② NPO 法人ミライビジネスいずもについて

事務局 NPO 法人 21 世紀出雲産業支援センターと、NPO 法人ビジネスサポートひかわの合併が決定し、
4 月 3 日に新法人が設立する予定。

別紙資料を基に設立趣旨や事業内容の説明と正会員や賛助会員の入会募集

委員 4 月から設立する NPO 法人ミライビジネスいずもについて説明があった。何か質問等ないか。
・意見なし

委員 以上で本日の審議はすべて終了した。ご協力に感謝申し上げます。

事務局 次回の振興会議は新年度に入り早めの時期に今年度の中小・小規模企業振興モデル事業の報告
等を議題として開催する予定。日程が決まり次第ご連絡をさせていただきます。

以上をもって令和 4 年度第 5 回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を閉会する。

以上